

議会を傍聴して



屋地・城之口公民会
井上 幸一さん

九月二十二日と二十四日、町議会の一般質問が開かれるので、傍聴にお越しくださいという、役場からの案内放送を聞いて、二十四日に友人と二人で傍聴に出向いた。傍聴席の入り口に、「議事日程、一般質問通告書」が置いてあり、内容に目を通すと、町長の所信表明に対すること、原発環境調査問題、観光振興対策、教育環境整備など、私たちの日常生活に関する事柄について、議論がなされることになっていった。

当日は、三人の議員が質問に立ち、町長が所信表明のなかで、合併問題について、「住民が望む最も理想とする枠組みについては、最後まで希望を持って対処する。」と述べているが、その具体的取り組みの内容についての質問がなされた。その答弁が抽象的で、具体策が聞けなかった。もともと本音の議論を聞きたかったのだが、ちよつと物足りなさを感じたところでもあった。

今、町政の最重要課題は、合併問題であると思う。宮之城町を中心としての、「四町」または「五町」の合併による「市制施行」でなければ、平成の大合併の意味がないと思う。宮之城町の将来を大きく左右する合併問題。今このとき、住民総参加で十分な議論をし、みんなが納得

する。そして、次世代の方々に、合併して本当に良かったと言ってもらえるような合併の実現が望まれる。そのためにも、議会でもっと活発な議論が、なされることを強く期待したい。

あなたも議会を傍聴しませんか

町議会定例会は、3・6・9・12月に行われます。日程等は事前にお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

収穫の秋、私たちの主食である米の一粒も、八十八の手間暇をかけて作られる。農家の汗の滴の代償は豊作であり、新米のご飯の味覚が箸を進めさせてくれます。元気の秘訣も、長寿の秘訣もおいしい「ご飯」。国民の米離れが進むなか、いっぱい食べることが、水稻農家の方々の苦しい現状を救うための、解決策のひとつともなります。実りの秋のこの時に、今一度、日本人の主食である、米のありがたさを考えてみたいものです。

ここに、議会だよりをお届けします。お気づきの点がありましたら、お知らせいただければ幸いです。

